

夏に多い虫刺され

まむしに咬まれた時

症状

- ① 咬まれた傷は1cm前後の感覚で2ヶ残るのが普通です。
- ② ほとんど30分以内に咬傷の腫れ、赤紫色の変色、強い痛みを生じますが、手などでは咬まれてから腕全体に広がるまで数時間～2日ということもあります(進行の早さは入った毒の量や部位によってかなり違います)。
- 毒の回りは意外に遅いので、あわてずに落ち着いて行動しましょう。

- ・ 三角の頭
- ・ 咬み傷に2本の牙痕



応急処置と注意事項

- ・ 安静にする。
- ・ 咬まれた局部を動かさないようにする。
- ・ 医療機関に連絡し、できるだけ早く連れて行く。
- ・ 圧迫することの効果は殆ど立証されていませんが不安を和らげる効果はあるかもしれません。しぼる場合は咬まれた部位より心臓に近い部位を軽く(血管が少し浮き出る程度)しぼり、10分毎くらいにはゆるめてください。
- ・ 「急いで毒を吸い出す」や「傷を切って毒を出す」は効果がありません。



ハチに刺された時

～別刷りで詳しいパンフがありますのでご参照ください

- ① 時に**強いショック症状**を起こすことがあります。その時は**すぐに医療機関に連絡**して受診しましょう！
- ショック症状とは：吐き気・冷や汗・意識低下・息がしにくい・全身じんましんなど
- ② 患部は冷やしましょう。腫れて痛みが強い時は、受診してください。

ムカデに咬まれた時

- ① 基本的には心配ありません。あわてて病院に駆け込むことは不要です。
- ② アイスノンや保冷剤、氷などで患部を冷やすと良いでしょう。

腫れてかゆみや痛みが強い時は、外科または皮膚科の診察を受けてください。症状はアレルギー反応なので、抗アレルギー剤やステロイド剤の軟膏を使うことになります。



虫刺されで受診する時の診療科は皮膚科か外科です。

当院では外科医不在で対応できない時があります。受診の際は事前にご確認ください。